

桜木東だより

校訓
夢をもち
よく学び
よく遊び
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.19
発行日 令和6年10月18日
校長 片山 明光

【学校教育目標】 夢をもち 人間性豊かで たくましく 創造的に生き抜く児童の育成

ノリノリ!! 音楽鑑賞会

10月16日(水)に音楽企画 LARGO さんを迎えて、音楽鑑賞会を行いました。久しぶりに1年生から6年生までの全学年が体育館に集まりました。通常の音楽鑑賞会はクラシックなどの一曲を長く聞くので、小学生のみんなが退屈しないかと心配していましたが、どの曲も短くしてあり、MCのアキヒコさんの軽快なトークにも引き込まれ、楽しく音楽を聴くことができました。最後にはアキヒコさんが作られた「ヒコダンス」を全員で踊り、大いに盛り上がりました。私自身も子どものころ音楽に触れる機会が少なかったもので、このような機会はとても貴重だなと感じました。あっという間の約60分でした。



ヒコダンスは音楽の授業の最初に何時間か練習していましたので、みんなノリノリで踊りました



最後には記念の色紙もいただきました

笑顔いっぱい!異学年交流「ふれあい活動」

10月17日(木)には、異学年交流「ふれあい活動」を行いました。6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生の組み合わせでした。上級生が下級生のクラスに行き、そこで活動を行いました。上級生の子が下級生の横に座り自己紹介をします(私の名前は〇〇です。好きなものは〇〇です。よろしくお願いします。)。そしてゲームです。「〇〇と言えば(赤い食べ物と言えば、など)」と教師がお題を出し、同じものが出たら「心が一つになったね!」ということで、ハイタッチをします。これが非常に盛り上がります。下級生も上級生も笑顔で楽しそうにしていました。

異学年交流には様々なメリットがあるといわれています。まず、社会性の発達です。普段は同じ年齢の子どもとの関わりが中心ですが、異学年交流を通じて発達段階の異なる子どもと接するため他者の意見や感情に対する理解が深まります。これにより多様な価値観を受け入れる姿勢を身につけることができるようになるといわれています。また上級生は下級生に教える行為を通じて、自己肯定感も育まれていきます。下級生は、上級生は頼れる存在だと気づきます。そして自然とこんな風になりたいとあこがれをもつようになります。そして自分がされてうれしかったことは誰かにしたくなるように、自分が年下の子に出会ったときしてみたくになります。

かつては、地域の中やきょうだいの多い家庭の中で自然と育まれていたことが、今では難しくなっているといわれています。本校では、このような異年齢交流をこれからも続けていきたいと思っています(何より、先生たちがほのぼのした光景を見て笑顔いっぱいでした)。



先生の言われるお題を聞こうと、ペアの2人は真剣な顔で待っています



6年生と1年生は、外で鬼ごっこや遊具と一緒に遊んでいました。